

令和2年10月6日（火）5校時

1 単元のデザイン

本単元の目標

- (1) 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕(2) ア
- (2) 文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
〔思考力，判断力，表現力等〕C(1) オ
- (3) これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし，見通しを持って，進んで文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，自分の考えを広げて書こうとしている。
〔学びに向かう力，人間性等〕

単元で取り上げる言語活動

筆者の考えを読み取り，日本語の数え方に対する自分の考えをノートにまとめる。

（関連：〔思考力，判断力，表現力等〕C(1) オ）

児童について

本学級の児童は，3年生の「人をつつむ形 - 世界の家めぐり」の単元では，理由や事例との関係に着目し，筆者のものの見方や考え方をとらえる学習をした。

3年生での標準学力調査における「読むこと」においては，全国平均正答率72.4%に対して71.1%であった。内訳を見てみると，物語の読み取りの正答率が80.0%に対して説明文の読み取りが正答率は57.9%だった。段落ごとで文章を読み取ったり，文章全体を大まかな内容で捉えたりすることは，おおむねの児童が理解できているが，文章構成や段落相互の関係を捉えることに課題がある。

教材について

本単元は，筆者の考えを読み取り，筆者の考えに対する自分の考えをまとめることをねらいとしている。

本教材は，普段意識することなく用いる日本語の「数え方」の特徴，機能について取り上げている。言葉の働きについての関心を高めたり，日頃当たり前だと思っている物事を改めて見つめ直すことの面白さや大切さに気付かせたりすることができる。筆者の意見が，事例を挙げながら明確に述べられているため，児童が賛成や反対など自分の考えを持つのに適した教材であるといえる。

指導について

本単元の指導において，次のような工夫を図る。

本文から筆者の考えを読み取るために，まず文章構成図を作成し，そこから筆者の考えを読み取るようにする。次に，言語活動として新しい数の数え方を作る活動を設定し，筆者の考えに対する自分の考えの根拠を持たせるようにする。加えて日頃より，NIE教育の一環として，新聞の投書に対する自分の考えをまとめる活動を積み重ねることで，相手や目的を意識して経験したことや想像したことなどから伝えたいことを明確に書けるようにしていく。

また，筆者の考えに対する自分の考えを言語活動を単元の前半と後半で書かせ，自分の考えをより明確にまとめられたと自分で自覚できる振り返りを単元を通して行うことで，深い学びの実現を図りたい。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア)	① 「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。(C (1) オ)	① これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし，見通しを持って，進んで文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，自分の考えを広げて書こうとしている。

3 単元構想図（全 13 時間）（本時 12/13 時間）

次	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
一	○学習の見通しをもつ。(1) ・「数え方」について知っていることを交流する。 ・初発の感想を書く。	・視点は絞らず，どんなことでも気付いたことを発表させる。 ・本文を読んで考えたことや疑問に思ったことをまとめさせる。	
二	○本文を読み，筆者の考えと根拠となっている事例を読み取る。(3) ○筆者の考えに対して，思ったことや考えたことを交流する。(1) ○筆者の考えについて話し合ったことから，自分の考えをまとめる。(3) ○新しい数え方を生み出す。(3) ○体験したことをもとに，改めて筆者の考えに対して，思ったことや考えたことを交流し，自分の考えをノートにまとめる。(1) (本時)	・文章構成図を作成し，筆者の「日本語の数え方」に対する考えと，その根拠となる事例を捉えさせる。 ・文中の事例を基に，筆者が読み手に最も伝えたいことを読み取らせる。 ・筆者の述べていることに対して，納得する所や疑問に思うところなど，自分の考えを話し合わせる。 ・日本語の数え方について，自分の考えをノートにまとめるよう促す。 ・新しい数の数え方を考えを生み出すことを通して，筆者の主張に対する自分の考えの根拠を持たせる。 ・日本語の数え方について，自分の考えを経験を基に，より明確にまとめるよう促す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【知識・技能①】 ノート① 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①】 ノート② 文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。</p> </div>

三	○学習の振り返りを行う。(1)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝えるために気を付けたこと、これからの学習に生かせることを振り返らせる。 	<p>〔主体的に学習に取り組む態度①〕 <u>ノート③</u> 進んで文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、自分の考えを広げて書こうとしている。</p>
---	-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

4 本時の展開

(1) 本時の目標

筆者の考えに対して、思ったことや考えたことを交流することを通して、自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の展開

学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	○評価規準 〔観点〕 (評価方法)
1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	◇前時までの学習を振り返り、筆者の考えを想起させる。	
相手の意見を受け止めながら考えをレベルアップさせよう。		
2 筆者の主張に対する自分の考えを持つ。 ・私は賛成です。わけは、新しい数え方を生み出す活動を通して、物事を深く考えることができたからです。 ・僕は反対です。確かに新たな考え方を生み出すことで物事の見方は変わりました。でも、正しい数え方をみんなが身に付けることも大切だと思います。 (グループ→全体) 「考えをレベルアップさせるには何を取り入れたらいいですか。」 ・体験したことを理由として書いたらいいと思います。 ・NIEタイムの時みたいに「たしかに」を使って反対派の意見も書いたらいい	◇ネームカードを黒板に貼らせ、賛成・反対を視覚的に分かるようにする。 ◆前時の振り返りを見ながら説明するように促す。 ◇全体で交流した際に、ネームカードの位置を移動してもよいことを説明する。その際、なぜ考えが変わったのか説明させ、考えを深めさせる。 ・教科書の筆者の主張の書き方が逆説を使って両方の意見を取り入れていることを確認する。	

<p>と思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田さんみたいに自分とは反対の考えも受け止めて考えを書けばいいと思います。 <p>3 全体で話し合ったことをもとに、まとめを書く。</p>		<p>○筆者の考えに対する自分の考えをまとめることができる。 [思考・判断・表現①] (ノート)</p>
<p>○期待される児童の姿 (まとめ例)</p> <p>私は、筆者の主張に賛成です。確かに、正しい数え方をみんなが身に付けることは大切ですが、新しい数え方を生み出す活動を通して、物事を深く考えることで言葉のじゅうなんさに目を向けることの方が大切だと思いました。</p>		
<p>4 学習の振り返りをする。</p>		
<p>○期待される児童の姿 (振り返り例)</p> <p>僕は、最初筆者の主張に対してなんとなく賛成だったけど、友達の意見に納得して反対に考えが変わりました。これからも、自分の考えに根拠を持って説明していきたいです。</p>		

(3) 板書計画



